6月1日～7日は水道週間です

水道週間スローガン「いつものむ　いつもの水に　日々感謝」

普段何気なく使っている水道水。蛇口をひねれば、いくらでも水が出るということが当然だと思っていませんか。水は限りある「大切な資源」です。水道週間を通して、水の大切さについて考えてみませんか。
【問】㊂水道課℡76-1511

市の水道の現状

市の水道水は、思川表流水(約77%)、地下水など(約23%)を水源とし、1日平均約4,500万リットルを配水しています。古河・総和地区では、約97%が思川からの取水です。

しかし、取水に当たっては、思川開発事業に参画することを前提に毎年暫定的な許可を受ける必要がある他、渇水時等には取水停止などの制限を受けかねない不安定な状態です。水道水を安定的にお届けするため、市では安定水利権の確保を目指しています。

思川開発事業とは、治水や安定した水の供給のために南摩ダム(栃木県鹿沼市)を建設するもので、令和6年度の完成を予定しています。市では完成の翌年度から23年間ダム建設負担金を支払うこととなります。

節水にご協力を

暑い時期を迎えると水の使用量が増えていきます。皆さんが節水を心掛けることで大切な水資源が守られます。家計の負担軽減にもつながりますので、普段からの節水にご協力ください。

■蛇口の開け閉めはこまめに

蛇口やシャワーは、1分間流すと約12リットルの水が出てしまいます。水を流したままにせず、コップに注いで歯磨きをしたり、食器の付け置き洗いをしたりしましょう。

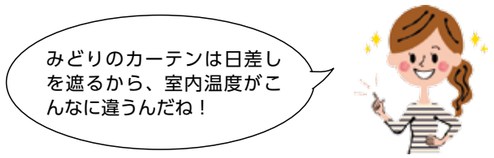
■水の再利用を

お風呂の残り湯を洗濯や掃除、散水に利用しましょう。

6月は環境月間です

環境保全について国民の知識と理解を深め、積極的な保全活動の推進を目的として、6 月を「環境月間」、6月5日を「環境の日」と国が定めています。今月の環境月間を機会に皆さんもみどりのカーテンなど環境保全を目的とする活動に取り組んでみませんか。
【問】㊂環境課℡76-1511

※環境により数値が異なる場合があります。



みどりのカーテン

つる性の植物(アサガオなど)を窓の外にはわせることで、夏の日差しを和らげ室温の上昇を抑えることができます。

さらに、夏野菜(ニガウリやキュウリなど)を育てると、料理でも活用でき楽しみが広がります。

また、市では今年も「みどりのカーテンコンテスト」を実施し、参加者を募集しています。詳細は、広報古河5月号31ページ、または市ホームページをご覧ください。

健康百科

熱中症について①

熱中症は多くの人が7月～８月に発症します。特に7月は梅雨が明け、気温と湿度が一気に上昇するため、暑さに慣れていない人が救急搬送されたり命を落とす人さえいます。

熱中症が起こる仕組み

人の体内では常に「熱」が作られていますが、汗をかくことによって熱を放散し、体の中に熱がこもらないように体温調節をしています。

ところが、気温や湿度が高い場所に長時間いると、体温調節機能がうまく働かず体内の熱を外に逃がせなくなります。

その結果、体温が上昇したり急にたくさんの汗をかいたりし、体内の水分や塩分が失われ熱中症の発症につながります。

高齢者や乳幼児は特に注意

■乳幼児

汗腺をはじめとした体温調節機能が十分発達していないため、気温が皮膚温よりも高くなったときに熱中症を発症しやすくなります。

また、身長が低いため地面からの熱の影響を受けやすくなります。

■高齢者

暑さを感じにくくなるだけでなく、のどの渇きも感じにくくなるため、気付かないうちに熱中症を起こしている場合があります。

次回は熱中症の予防と対応についてお知らせします。

健康づくり課

公園日和（こうえんびより）

キスゲ(ヘメロカリス)株分け体験

ネーブルパークの初夏を黄色やオレンジ色など色鮮やかに彩るキスゲ。このキスゲは、株が大きくなると花付きが悪くなるため、4年～5年ごとに株分けをする必要があります。

大きく育ったキスゲの株を掘り起こして、鎌やスコップで2株～4株に分けて植え付けます。

ネーブルパークでは前回の株分けから5年が経ち、株が大きくなってきたため、昨年10月20日に33人のボランティアの皆さんとキスゲの株分け体験を行いました。

キスゲは、6月中旬から7月中旬にかけて見頃になり、約2,000平方メートルのキスゲ園が黄色やオレンジに染まります。皆さんと一緒に株分けし、植え付けたキスゲの開花が楽しみです。

【問】ネーブルパーク管理事務所
℡92-8752